

平成 27 年 4 月 8 日

新 宿 区 長 あて

法 人 名 NPO 法人
あそびと文化の NPO
新宿子ども劇場
所 在 地 新宿区北山伏町 2-17
ゆったり～の共同事務所
(フリガナ) ノリマツ ヨシミ
代表者氏名 理事長 乗松 好美 ⑩

協働推進基金助成金交付申請書

新宿区協働推進基金条例施行規則第 14 条の規定により、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

助成金申請額 500,000 円

1 助成対象事業

事業名	文化で地域づくり アートの花を (新宿フィールドミュージアム 2015)	
事業種別	既存事業	新規事業
申請する助成の種類	NPO活動資金助成	新事業立上げ助成
過去に本助成を受けた実績	助成年度 (23) 事業名 (「ダルレのはなし」 楽しみたい・学びたい・触れたい韓国) 助成年度 (25) 事業名 (文化で地域づくり アートの花 (新宿フィールドミュージアム 2013)) 助成年度 (26) 事業名 (文化で地域づくり アートの花 (新宿フィールドミュージアム 2014))	
この事業に対し他の助成の有無 (申請中のものを含む。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	有の場合は助成団体及び助成額 団体名： 助成額： 円
事業実施地域及び会場	新宿区内 5 か所の区内公共施設または民間施設ホールおよび集会所 (淀橋・落合・大久保・牛込・四谷)	
スケジュール (実施期間等)	2015 年 2 月 2 日 (月)・3 月 9 日 (月) 地域実行委員会準備会 (大久保) 実施 2 月 21 日 (土) 地域実行委員会準備会 (落合) 実施 3 月 1 日 (日) 地域実行委員会準備会 (四谷) 実施 3 月 8 日 (日) 地域実行委員会準備会 (淀橋) 実施 3 月 29 日 (日) 地域実行委員会準備会 (牛込) 実施 4 月～5 月 第 1 回地域実行委員会 区内 5 か所 以下のスケジュールより助成対象事業として実施 (1) 6 月～8 月 第 2 回地域実行委員会 区内 5 か所 (2) 9 月・10 月 ワークショップ 区内 3 か所 ① 西村直人パパ講座「パパと子どもの絵本の時間」(場所:落合第一地域センター 予定) ② 9/13(日) to R mansion 表現ワークショップ (場所:新宿区立新宿NPO協働推進センター 予定) ③ 「詠み語り講座」(場所:西新宿シニア活動館 予定) (3) 10 月～12 月 観劇会 区内 5 か所 (淀橋・落合・大久保・牛込・四谷) ① 淀橋 音楽コンサート予定 日程未定 (場所:エコギャラリー新宿予定) ② 落合 西村直人「絵本読み聞かせコンサート」日程未定 (場所:聖母ホームまたは落合第一地域センターホール) ③ 大久保 to R mansion 「大道芸作品」11 月 8 日(日)or15 日(日) (場所:新宿区立新宿NPO協働推進センター予定) ④ 牛込 クラウンびり&ブッチィー「シアタークラウン」日程未定 (場所:旧新宿区立愛日小学校体育館予定) ⑤ 四谷 演目未定 日程未定 場所未定 (4) 11 月～2016 年 1 月 第 3 回地域実行委員会 区内 5 か所 まとめ	

文化は、地域の人と人をつなげる最も有効な手法の一つであるとの認識に立ち、一過性ではなく今後も継続していく人間関係と地域意識の構築を目指し、ひいては文化による街づくりになりうる。

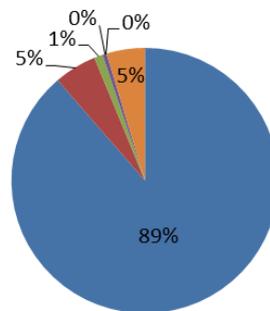
さまざまな人や団体が一緒に取り組むことで新宿の街を身近に意識し文化振興条例でいう「私たち区民」で取り組む文化芸術創造の理念の重要な視点になりうる。

(1)26年度のNPO活動助成金で「フィールドミュージアム2014」区内5か所(淀橋・落合・大久保・牛込・四谷地域)でワークショップ・公演に述べ925人(区内在住者95%他の事業平均58%からも区内参加者率が高い)の方が参加した。アンケートでも(回収率20%回収率も高い)94%が満足(5段階評価中「とても満足」89%、「やや満足」5%)との回答を得た。

区民ニーズの把握状況
(それは、どのように把握したかを含む。)

①全体として満足でしたか

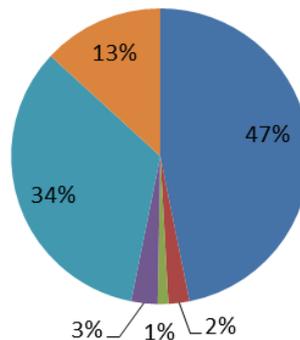
■とても満足 ■やや満足 ■普通 ■やや不満 ■不満 ■未解答



*89%の方にとっても満足頂ける公演を届けることが出来た。

②公演を何で知りましたか？

■チラシ ■DM ■FMガイド ■ネット ■紹介 ■その他



*チラシを学校はじめ公共施設に置くことで47%の方が来場。

*34%の人が地域実行委員の紹介で参加⇒口コミの高さ

*その他の中には町会の掲示板をみてきた方が2名いた。

<アンケートからの抜粋>

*とても楽しく心地よかったです。一緒に音楽「する」ことはコミュニケーションですね。次をまた楽しみにしています。

*子どもも大人も楽しめる音楽会でした。大人は忙しい中、ホット癒される時間が過ごせたと思います。心にうるおい、という感じでした。

	<p>*家族で楽しませていただきました。パパも参加出来て思い出に残ります</p> <p>*みんながすごく楽しんで一体になれた感じが良かったです。</p> <p>*アットホームな雰囲気近くで見れたのが良かった。</p> <p>*大人も笑い転げて楽しめました。期待以上でした。</p> <p>*子ども、大人問わず全員参加型は非常に盛り上がると思いました</p> <p>*とてもすごかったし、感動した。おなかの中にも「ドンドコドン」と音がひびいてきた。</p> <p>*シビレました。目と耳と心の保養に感動たっぷりでした。子育てのパワーにさせていただきます。</p> <p>*体育館でやるとアットホームな感じが出て、より親近感が出て楽しめました。</p> <p>*毎年見えています。いつも楽しくて、特に今回はいつもより面白かったです。</p> <p>*久しぶりにドキドキワクワク、次に何が出てくるかなと全身で目が離せませんでした。いくつになっても夢を持って生きて行くことの大切さを教えられました。</p> <p>継続に向けての地域のニーズも高い。対象を考えた作品設定や会場設定と運営面に対しての信頼も高く、主体的に自分たち地域の子どもたちへ向けてと活動するスタッフも参加しやすさから創出できた。地域貢献も考慮した通常の観劇価格より価格設定を低くし特に子どもや親子の参加をしやすいように経営努力を図っている。</p> <p>(2)日本における子どもの貧困の割合は6人に一人と言われている。子どもたちの置かれている経済格差の広がり大きく(2012年新宿区における教育扶助受給率18%)、お金がかかる事で参加を躊躇する方もあり、全ての子どもたちが参加できる環境づくりが求められている。</p> <p>(3)平成22年度から5年間実施している乳幼児文化体験事業での参加者へのアンケートから、①観劇や文化体験事業への参加要求の高さ②乳幼児親子の歩いていけるアクセスの良さ③観劇は視線の合う平土間設定等が参加しやすい条件という分析を得る。1つの場所に大型の作品設定するのではなく、私たちの得意とする地域コミュニティに丁寧に働きかけるコミュニティアートをと子どもたちの生活する地域での観劇会を設定することでより多くの子どもたちへ文化体験のアクセスしやすい環境ができる。</p>
事業の対象者	新宿区及び近隣地域の乳幼児から大人

活動内容

※必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等を添付し、又は印刷物等の資料を提出していただいても結構です。

2015年

★3月 地域実行委員会準備会 区内5か所

目的、対象、などコンセプト（地域において、地域の大人が子どもたちへ劇をプレゼントする）を確認し、地域実行委員会を組織する。運営については各地域の実情に合わせる。

★4月～5月 第1回地域実行委員会

具体的な演目設定と、日程、会場などを確認し、チラシや協力体制をどのようにつけるか、当日までのスケジュールリングを行う

以下のスケジュールより助成対象事業として実施

(1)6月～8月 第2回地域実行委員会

進捗状況を確認、チケットチラシを持ってサポーター募集広報活動（寄附や協力体制への周知）。各地区町会連合会に事業説明協力要請を行う。

どのような取り組みができるか協議。ワークショップについての広報、当日運営確認。昨年のように裏面共通チラシ作成。

文化で地域づくり アートの花を

子どもの夢を育てたい大人がいる、大人と子どもとの距離から距離をつくるエスプレッソももらう。それが、こころがけの新しいカタチです。

「新宿子ども劇場地域公演2014」お申込み欄

下記をご照会の上、興味お持ちと文化の力で地域子どもを育てたいお申し込みをメールでお申し込みください。
受付後、チケットと振込用紙をお送りいたします。

保護者氏名	希望校数	大人	親子	子ども	枚		
希望作品	1/2 田中道子先生の音楽劇	1/3 伊・柳田流石のソラ	※ここで選んでください				
1/1 1/6 田中道子先生の音楽劇	1/3000	2/1600					
1/2 3 田中道子先生の音楽劇	1/1000	1/2 5 伊・柳田流石のソラ	※ここで選んでください				
希望校数の参加希望	1/0/1 2 田中道子先生の音楽劇	1/0/1 3 伊・柳田流石のソラ	1/1000	2/1400			
お子さんの氏名	年齢	才	ナ月	お子さんの氏名	年齢	才	ナ月
住所	〒	電話番号	()				

チケットは、子ども(中学生以下)無料・大人(高校生以上)1人1000円/希望校数の都合上必ず事前にお申込みください。

※チケット一席席「地域子どもに文化のプレゼント」に限りましては、お申込みの席数に限り1000円

主催：(特) あそびと文化のNPO 新宿子ども劇場
〒162-0893 新宿区北山町2-1-7 ちゃっかりの共同事務所
TEL:03(5340)0000 FAX:03(5340)0001
URL: http://www.kodomotheater.jp/

(2)9月～10月 ワークショップ 区内3か所 【原則参加費無料】材料費のみ徴収

目標：地域を巻き込み多世代で本公演を迎えるため、動員力の弱い地域をより活性化させるために集中的にアウトリーチワークショップを行う。

①西村直人パパ講座「パパと子どもの絵本の時間」(場所:落合第一地域センター 予定)

講師：西村直人

対象：子育て中の保護者

内容：親子で絵本の音楽読み聞かせその後別室に子どもは託児
子育ての悩みの共有

②to R m a n s i o n表現ワークショップ (場所：新宿区立新宿NPO協働推進センター 予定)

日程：9月13日(日)午後予定

講師：野崎夏世

対象：親子50名

内容：見たイメージをからだに取り込んで、物のもつリズムや動きを表現！
自分のイメージと他の人のイメージから、同じ物を見てもこんなに違った表現がうまれるなんて!!動物や海の生き物をテーマに、遊びながらからだを動かしてみる。

③「詠み語り講座」(場所：西新宿シニア活動館 予定)

講師：未定

対象：シニア活動館に来館の方

内容：絵本の詠み語りと音楽の融合

(3)10～11月 観劇会 区内5か所(淀橋・落合・大久保・牛込・四谷)
【参加費：子どもは無料・大人1000円】

①淀橋地域公演

音楽コンサート予定 日程未定

対象：乳幼児から大人 70名

場所：エコギャラリー新宿予定

内容：地域の子どもからお年寄りまで三世代が楽しめる演目を軸にエコギャラリーの音質の良いのを生かされる内容にする。

②大久保地域公演

演目：to R mansion 「大道芸作品」

日時：11月8日 or 15日 日曜日 午後予定

対象：乳幼児から大人 定員 264名

場所：新宿区立新宿NPO協働推進センター2階多目的室 予定

内容：子どもから大人まで広く満足してもらうためにパントマイム・アクロバット・マジック演劇を使った、おもちゃ箱をひっくり返したようなコメディパフォーマンス。日本のみならず海外でも絶賛されている。



③ 落合地域公演

演目：西村直人「絵本うたコンサート」

日程未定

対象：乳幼児から大人 定員 150名

場所：聖母ホームまたは落合第一地域センターホール

内容：3年目になった聖母ホームとの共催。子どもから施設に入居するお年寄り4世代が楽しい空間が実現したので今年度もぜひ継続して実現したい。ただしお葬式とインフルエンザなどで、キャンセルになる可能性がある。周囲を中野・練馬・豊島区をはさんでいるが、とても子どもの多い地域でもあり乳幼児から小学生向けの作品に対しての要求が高い。父親となってから子ども歌の活動を始めてわらべうたやあそび歌を。



④ 四谷地域公演

演目：未定

日時：未定

対象：乳幼児から大人 定員 150名

場所：四谷地域センターホールまたは四谷小学校体育館 予定

内容：地域の町会連合でも協力理解が得られる広く多世代で見られる大衆

演目で考えている。

⑤牛込地域公演

演目：びり と ブッチィーのクラウンシアター

日時：未定

対象：乳幼児から大人 定員 150 名

場所：旧愛日小学校体育館 予定

内容：子どもから大人まで笑って楽しめる良質なエンターテイメントショー。たくさんの人たちと。

YEN TOWN FOOLS
びりとブッチィーのクラウンシアター

日本のみならず、海外でも高い評価を得ている本格派クラウンのコメディ！
小さな子どもから大人まで、そして国境を越えて
一緒に笑って楽しめる、良質なエンターテイメントです！

6月20日(金)
開場 18:30 開演 19:00 (上演時間 70分)
場所：四谷区民ホール
対象：乳幼児から大人
料金：前売り大人 2,000円 子ども 1,000円
(3歳未満無料)
当日券(大人・子ども) 2,500円

後援：新宿区
主催・申し込み先：(特)あそびと文化のNPO 新宿子ども劇場
TEL&FAX 03-5261-8696 Mail shinjukukodomogeiko@mbr.nifty.com

(4)11月～2015年1月 第3回地域実行委員会 区内5か所 まとめ
地域公演のまとめ成果と課題抽出。事業報告書をサポーターや協力して
いただいた方に報告。次年度への検討

地域の人たちの事業
へのかかわり方

(ボランティアとして参加する等、どのように地域の人がこの事業に参画することができるかを記入してください。)

① それぞれの公演に参加する事が出来る。

②子どもの生活する地域を中心に捉えどのような大人とつながり、子どもたちが将来にわたり地域で幸せに生活していけるかを念頭にそれぞれの地域課題を検討しながら商店街、町会、PTA、スクールコーディネーター、民生児童委員、青少年育成委員、学校や専門学校、福祉協議会、地域で活動するNPOなど一連の事業への協力を求めることを通して、文化活動への理解を深め、共感する人たちを増やす。

③淀橋・落合・大久保・牛込・四谷地域をはじめ、区内各地から告知協力やスタッフとしての参加を募り、事業への参画をはかる。

④地域の大人が子どもたちへ舞台をプレゼントすることをコンセプトに周知していただくためのサポーター募集リーフレットを作成し、子どもたちの負担のないために寄付者を募る。

<p>実行体制</p> <p>(必要とされる人員とその確保のめど、必要な設備等)</p>	<p>①各5地域の実行委員会は、新宿子ども劇場の理事が中心となり、会員を含む地域の有志と組織する。実行委員会は地域課題を明確にし、地域の実情にあった企画運営をする。各実行委員会は子ども劇場の理事が責任を持って運営する。</p> <p>②アウトリーチワークショップは、地域を活性化するための実行委員会間の調整をし、子ども劇場が実施する。</p> <p>③新宿子ども劇場でも事業予算を計上し、経費の面での補てんをする。</p> <p>④各地域の進捗状況は新宿子ども劇場の理事会が常に把握し、それぞれの実行委員会の状況も共有する。</p> <p>⑤事業に関わる設備は、新宿子ども劇場の備品を活用する。</p>	
<p>期待される成果</p>	<p>区民や地域にもたらす具体的効果</p>	<p>①2020年東京オリンピックが決定しスポーツだけではなく地域の子どもが、文化活動を通じて地域への愛着を深めていくことを理解し、子どもたちに文化活動が必要であるという地域の大人を増やし、さまざまな文化の違いを理解しながら安心して生活できる街づくりを作っていく。継続的に行う文化的手法が、地域のコミュニティづくりには有効であるということ立証し、実感を得ていく。</p> <p>②地域の大人が子どもたちへ舞台をプレゼントすることをコンセプトに、地域の大人が子どものために何かしたいという潜在的ニーズを掘り起こし子どもたちは無料で文化体験をする事が出来る。</p> <p>③「来て見て楽しい新宿フィールドミュージアム2015」(文化月間)すべての事業を登録することでより広く告知をし、誰もが参加しやすくアクセスしやすい環境にする。</p> <p>④区内5か所で実施することで交通弱者やアクセスしづらい子ども・お年寄り・障害のある方までアクセスしやすい。</p> <p>⑤30～40代の子どもを育てている世代が、「私にもできる」身近な取り組みを実感し、事業を行った達成感から次への意欲の創出となり新しい地域を考えていく市民を育てていく。</p>
	<p>申請事業を実施することによる貴団体の活動への効果</p>	<p>① この助成金を通ることで3年間継続しての信頼の付加価値・助成機関が持っている活動分野間のネットワーク・当法人の事業作りのノウハウや視点・成果を上げることでの宣伝などの付加価値がある。</p> <p>②地域が地域の持つ人的、物、アイデアを生かして子どもの生活圏で文化活動を創り出し、積み重ねて行くことで、子どもが育つ文化豊かな地域と人と人とのつながりが作られて行くプロセスとその実感。</p> <p>③子どもたちが地域での文化活動の体験を通じ、共有・共感の中で、人と人のつながりを実感することは、とても大切であると感じているが、「子どもたちにもっと文化を！」と思うより多くの人の輪を広げ、文化体験の場をより多く創り出して行くこのような事業は私たちの原動力となる。あらためて獲得ではなくその成果を地域の受益者はもちろん地域に広く還元することで継続して団体に責任を持ち地域を学びながら人と出会い地域の課題を明解にし、まだ見ぬたくさんの子どもたちに文化体験を届け企画していく。</p>

貴団体の経営基盤強化
に向けた取り組みと
今後の展望

①私たちのミッションは、「すべての子どもに文化権を！」(子どもの権利条約 31 条の休息余暇あそび芸術文化への参加)と子どもたちがより多くの文化芸術活動にアクセスでき、そのために当法人内外に文化芸術活動を企画する人、大切に思う人を増やすことが必要である。子どもたちには文化が必要であると共有できる環境・地域にする。そのために私たちは、区内で文化芸術活動を企画する、実施する、発信する。そのための人材を育成する。

②具体的には、自分の見えている子どもの姿や地域の状況の中で何が今必要かを考え、さらに地域では、区内ではと企画実践していく。文化活動を通しての市民への啓蒙活動と人々の芸術文化に対しての社会貢献の意欲の高まりをうまく手をつなぎあわせ、子ども・地域・文化を切り口に行政や企業に対して政策提言や協働のあり方を模索していく。

③現実問題として子どもたちに文化活動を気楽にできる環境にはなく、そこには保護者の経済問題や考え方で大きく二極化してきている。私たちは、子どもゆめ基金などの助成金を利用したり、平成 23 年度から 4 年間文化庁の次代を担う文化芸術体験事業などで区内小中学校の事業に文化体験のワークショップを提案したり地域の子どもの文化活動の体験のすそ野を広げる努力をしてきた。

④クラウドファンディングに 2015 年 4 月から一か月挑戦をはじめ、今回のように、地域の大人が子どもたちへ舞台をプレゼントすることをコンセプトに区民の方から子どもたちへというお金を出して頂くことが定着して毎年一回でも地域で劇などが観られる文化豊かな地域になるコーディネートする中心になって発信する団体でありたい。

⑤自らの使命のもとに、社会の課題に挑み、広く市民の参加を得て、課題の解決に向けて成果を出している。そのために必要な、責任ある活動母体として一定の組織的安定性と刷新性を維持した公益団体となり寄附する方々にとっても控除となり、子どもたちへ生きたお金の還元できる団体になるべく努力していく。

2 助成対象事業費内訳（積算根拠）

※協働推進基金助成金は、助成申請額を入れて積算して下さい。

※入場料又は会費を徴収して行うイベント、公演等は、必ず単価を入れてください。

(G)

収 入	経 費	積算根拠（内訳）		金 額
		団体負担金		505,000 円
		参加費・資料代等	チケット 1,000 円×300 枚	300,000 円
		その他の収入	サポーター 1,000 円×200 口	200,000 円
		協働推進基金助成金	助成希望額	500,000 円
		計		1,505,000 円
支 出 （ 助 成 の 対 象 に な る 事 業 費 の 内 訳	費 目	予算額	内 訳	
	会議費	90,000 円	実行委員会会場費 2000 円×5 か所×2 回 ワークショップ会場費 5000 円×3 か所 公演会場費 10000 円×5 か所 資料コピー代 5000 円	
	宣伝費	98,000 円	サポーターチラシ 2 円×2000 枚 公演チラシ 2 円×7000 枚×5 か所 チケット 4000 円×5 か所 ポスター（カラーコピー）80 円×50 枚	
	リース費	0 円		
	消耗品費	43,500 円	封筒 2 円×2000 枚 ラベル 3000 円×5 ガムテープ・養生テープ 400 円×15 ブルーシート 4000 円 プリンターインク 5000 円×2 ワークショップチラシ用紙 1500 円×3	
	謝礼	823,000 円	ワークショップ 30,000 円×3 人 公演謝礼 30,000 円×19 名（5 公演分） 公演スタッフ 3,000 円×5 名×5 か所 実行委員会 2,000 円×2 名×5 か所×2 回 ワークショップスタッフ 3,000 円×2 名×3 か所 チラシ制作 5000 円×6 人	
	人件費	63,000 円	公演 3,000 円×3 名×5 か所 ワークショップ 3,000 円×2 名×3 か所	
	材料費	9,000 円	ワークショップ経費 3,000 円×3 か所	
	交通費	25,000 円	ワークショップ 2,000 円×3 か所 公演出演者 1000 円×19 名	
	その他諸経費	27,000 円	ワークショップ・公演 90 円×300 通	
助成対象事業費（小計）		1,178,500 円		
助成対象外事業費		326,500 円	公演謝礼差額 260,000 円 出演者食費 1000 円×19 名 駐車場 2,000 円×5 か所 会議お茶 1000 円×3 回×5 か所 スタッフ食費 600 円×5 人×5 か所 プレゼント 1500 円×5 か所	
事 業 総 額			1,505,000 円	

3 その他

助成金申請額を減額して助成金の交付決定をした場合、助成対象事業の遂行は可能ですか。

(はい ・ いいえ)

助成対象経費

下記項目以外の経費（飲食費等）は、対象といたしません。

項目	経費の種類
①会議費	打合せ、会議資料コピー代、会場使用料等
②宣伝費	チラシ、ポスター等作成費
③リース費	事業に直接必要な機器の賃借料
④消耗品費	事務用品の購入費
⑤謝礼	講師、協力団体等への謝礼（1時間当たり1万円を限度とし、1日当たり3万円を限度とする。）
⑥人件費	事業実施に直接関る事業主体の人件費として時間単価1,000円、1日あたり1人4,000円を上限として、かつ助成対象事業費の20%以内
⑦材料費	事業に直接必要な材料の購入費
⑧交通費	公共交通機関の交通費、講師との事前打合せのための交通費等（タクシー代は除く。）
⑨その他諸経費	損害保険料、郵送料等（チャリティ募金、寄附金等は除く。）